



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの

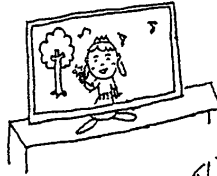




ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊び（遊具や場）を見付け、見立てたり、「〇〇のつもり」の遊びをしたりして楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭にあるような遊具を多めに用意し、それぞれが興味のある物で遊ぶことを楽しめるようにする。 保育者も一緒に遊ぶことで遊びの楽しさを感じられるようにする。 ごっこ遊びなど、幼児が体験したことをその子なりに再現したり、動物やお母さんなど何かになりきったりしている姿を受け止め、楽しんでる世界を受容したり、共感したりする。
	自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に興味をもつようになる。 感覚的な遊びを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な虫や草花に出会い、見たり触れたりすることを楽しめるように、戸外で遊ぶ機会をつくる。 水や砂の感触や、解放感を味わいながら遊ぶことができるように、砂場に扱いやすい遊具を用意したり、様々な水遊びを取り入れたりする。 
	言葉や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な言葉が分かり、使うようになる。 簡単な色・数・量・形などに興味をもつようになる。 自分なりに思いを表わすようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要な言葉（「貸して。」「入れて。」「ごめんね。」など）や時間や場所を表す言葉、会話で使う言葉を知らせ、友達とのかかわりが楽しめるようにする。 伝えたい思いを具体的な言葉で代弁したり、思いに寄り添って共感したりしながら、自分の思いの表出を支援する。

家庭で大切にしたいこと（保護者のかかわり）

 <p>プリンセスになって遊ばせよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> テレビや動画などの視聴だけではなく、子どもが自分から興味のある遊びにかかわる時間を大切にしましょう。（視聴時間は各家庭で上限を決めるとよいです。） 園での様子を聞いたり、興味のあることを話題にしたりして、子どもの興味に寄り添いましょう。 物を何かに見立てて遊ぶ姿や、何かになりきって楽しんでいる姿を見守り、温かく受け止めましょう。
 <p>穴が大きくなってね</p> <p>よし、一筋のトンネルをぞろぞろ!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、砂遊び、虫探しなど、好奇心を大切にし、自然物に直接触れて遊ぶ機会をつくりましょう。 虫を見る、花の香りを楽しむ、砂場で遊ぶなど、諸感覚を使って大人も一緒に様々な感触を楽しみましょう。
 <p>入れて</p> <p>お友達が「入れて」って言ってるわよ</p> <p>何で言ったのかわからな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大人の話す言葉がモデルとなるように意識しましょう。また、遊びの中で「貸して。」「待っていてね。」など、必要な言葉も知らせましょう。 絵本の読み聞かせなどをとおして様々な言葉に触れる機会をつくったり、楽しかったことを話したりしながら、言葉のやりとりを楽しみましょう。 大人が、子どもの気持ちを切り替えるきっかけを作り、「〇〇したかったんだね。」など、受容する言葉を掛けながら気持ちに寄り添い、思いの表出を見守りましょう。



自分から周囲に積極的にかかわっていくとき
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること



もできるようになる4歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
発見・考え・表現する力	好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな遊びを繰り返し楽しむようになる。 保育者や友達と一緒に歌ったり、踊ったりすることを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びを繰り返し楽しめるよう、興味や関心に合わせて、遊びの環境や援助を工夫する。楽しんでいる姿や、周りの遊びを見て、自分からやってみようとする姿を認める。 ままごとやお店屋さんなど、イメージをもって遊ぶ楽しさが味わえるよう、保育者も役になりきって遊び、遊具や素材を用意する。 保育者と一緒に、季節や生活に関連した歌を歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする機会をつくる。
	感じたこと、考えたことを言葉で伝える	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に興味をもつようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培物の世話や、虫探し、草花を使った遊びなどの自然とかかわる機会を増やし、親しみをもてるようにする。
	文字や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことや覚えたことを積極的に使って話すことを楽しむようになる。 友達に自分の思いを出せるようになる。 読み聞かせを聞いて、絵本のストーリーを楽しんだり、想像を膨らませたりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> なぞなぞ、しりとり、言葉集めなど、生活の中で、言葉のおもしろさを楽しめるようにする。 正しい言葉遣いや気持ちのよい話し方を知らせる。 自分の思いや考えを言葉や動きで伝えようとする姿を支え、自分の思いが友達に伝わったり、遊びの中で自分の考えたことが実現したりする喜びを味わえるようにする。 様々な種類の読み聞かせをとおして、興味の幅を広げるようにする。

大切にしたいこと (保護者のかかわり)
<ul style="list-style-type: none"> 子どものイメージの世界を見守りながら一緒に役になりきって遊んだり、言葉のやりとりを楽しんだりしましょう。 園で覚えてきた歌を聞いたり、一緒に歌ったりしてみましょう。 やってみいたいという気持ちを認め、褒めてあげましょう。
<ul style="list-style-type: none"> 四季折々の自然(つばみ、花、木、葉、雨、水たまり、風など)や生き物(アリ、ダンゴムシ、カタツムリ、バッタなど)に親しみましょう。子どもの気付きや喜びに共感し、おうちの方が感じたことを具体的な言葉で伝えていきましょう。
<ul style="list-style-type: none"> おしゃべりを楽しむ中で、場にそぐわない言葉を遣ったときは、その都度知らせましょう。大人もよい言葉遣いを意識し、優しい言葉を掛けるなど、子どもの見本になるようにしましょう。 子どもが思いを言葉や動きで表そうとしているときは先回りせず待ちましょう。 図書館に行くのもおすすめです。子どもが好んで選ぶ絵本や図鑑などから興味をもっている世界を一緒に楽しみましょう。